

# 緑化 張りブロック

よろい  
**鎧**  
YOROI  
覆土タイプ

**カルスト**  
半覆土・覆土タイプ

けいこく  
**溪谷**  
KEIKOKU  
半覆土・覆土タイプ

## 自然とのふれあい

自然景観を創造し、地域社会にやすらぎといこいを誘い、魅力ある「川づくり」「街づくり」を目標に、当組合は、多自然工『鎧』『カルスト』『渓谷』三種類のブロックと各規格により、それぞれ目的に対応できる張りブロックを開発致しました。

覆土工法として高い安定性を確保すると共に、植生根付を高め自然環境と共生を図り、未来に向かって自然生活空間の創造に貢献してゆきます。

### 特長

流速や流勢に対応した三種類は、1㎡1個使いで機械施工となり、施工と工期の省力化が図れます。

#### ■鎧（法勾配1割5分～2割）

覆土を目的にしたブロックで、覆土を強捕し、ブロックの4辺に35cm×10cmと中心に10cm角の開口部を設け、下層地盤との水分吸排水により覆土法面の緑化を促進します。

#### ■カルスト（法勾配1割5分～2割）

半覆土・覆土を目的にしたブロックで、流勢が「渓谷」に比べ緩やかな一般的な箇所に対応したブロックです。開口部はブロック4辺に33cm×15cmと中心に直径20cmを1ヵ所設け、下層地盤との水分吸排水により覆土法面の緑化を促進します。

#### ■渓谷（法勾配1割～2割）

半覆土・覆土を目的にしたブロックで、開口部はブロック4辺に12.5cm×10cmと直径10cmの開口孔を4ヵ所設け、「カルスト」よりは流勢の強い箇所に対応したブロックです。

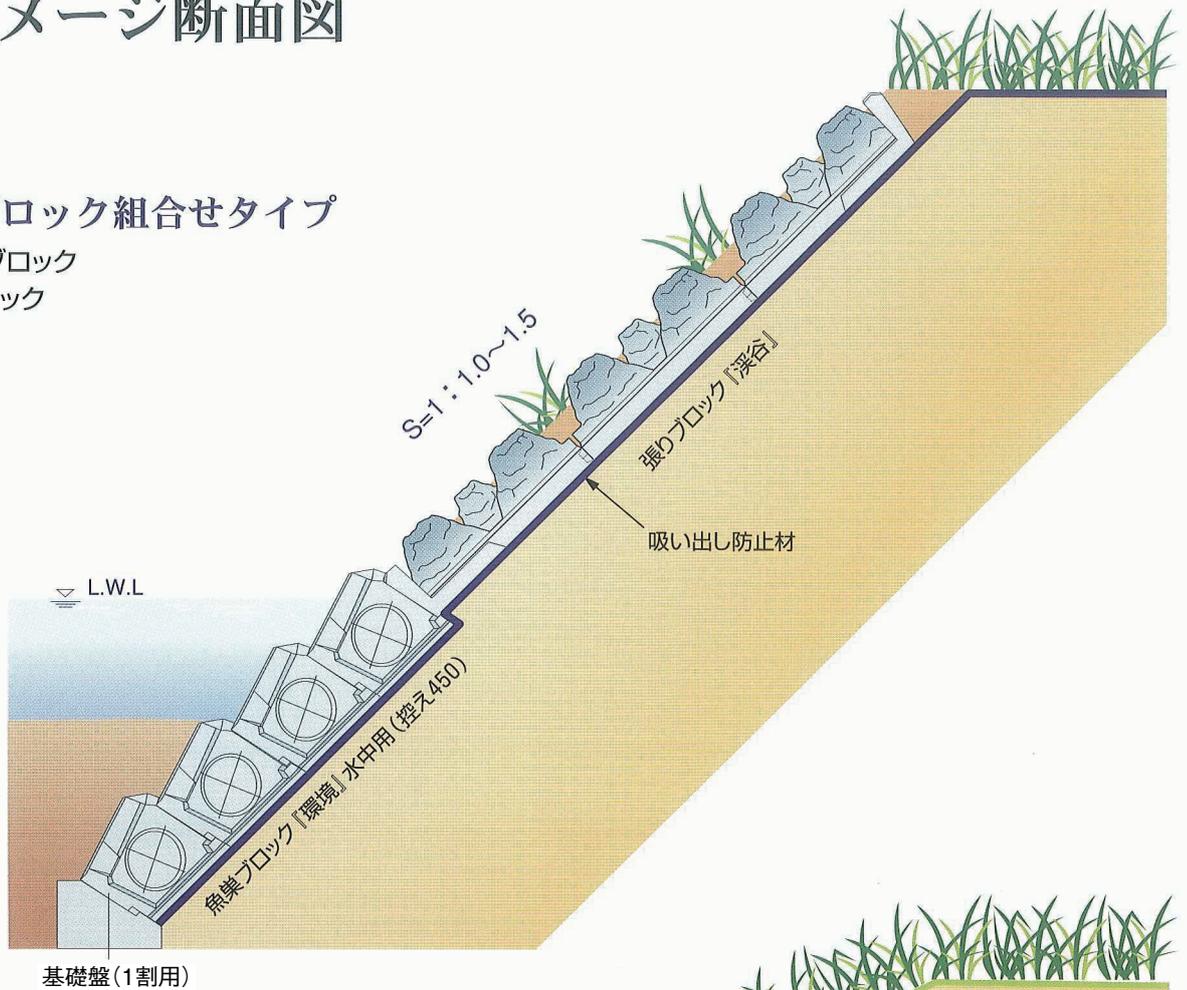
#### ■魚巢ブロックと『渓谷』張りブロックとの組合せ（法勾配1割～1割5分）

水中部と接する工事施工場所では、水中部を『環境』ブロックの水中部と『渓谷』張りブロックとを組合せ、陸上・水中共に自然環境を守ります。

# 施工イメージ断面図

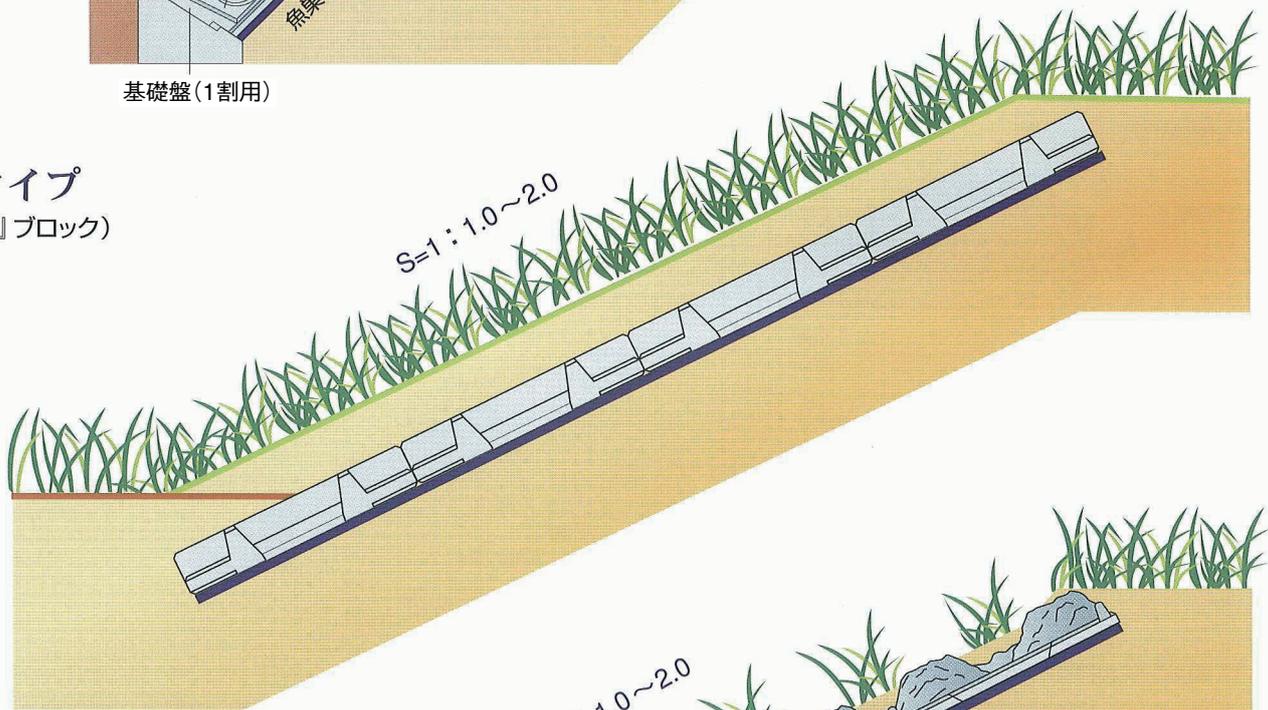
## (1) 水中魚巣ブロック組合せタイプ

- 環境水中用ブロック
- 渓谷張りブロック



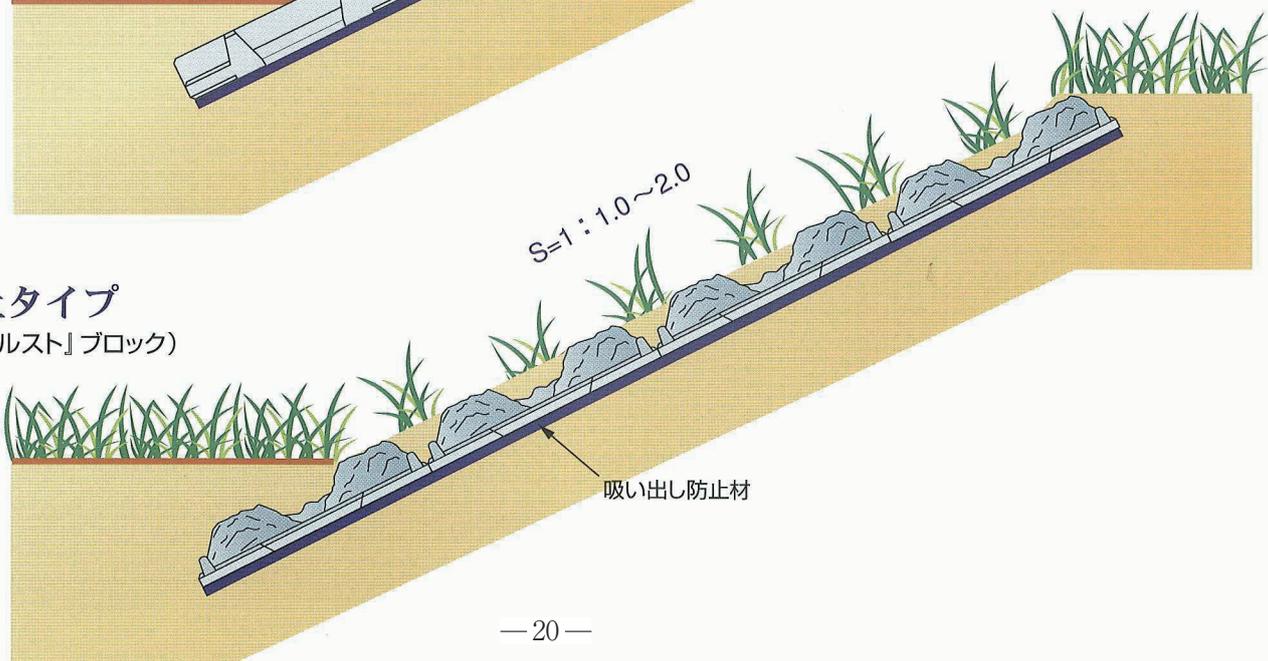
## (2) 覆土タイプ

(図は『鎧』ブロック)



## (3) 半覆土タイプ

(図は『カルスト』ブロック)

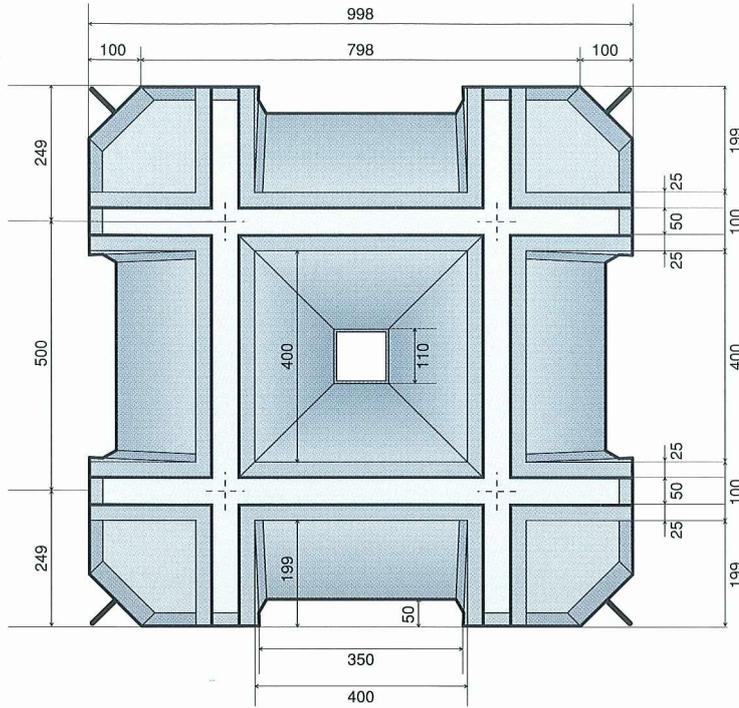


# 鎧

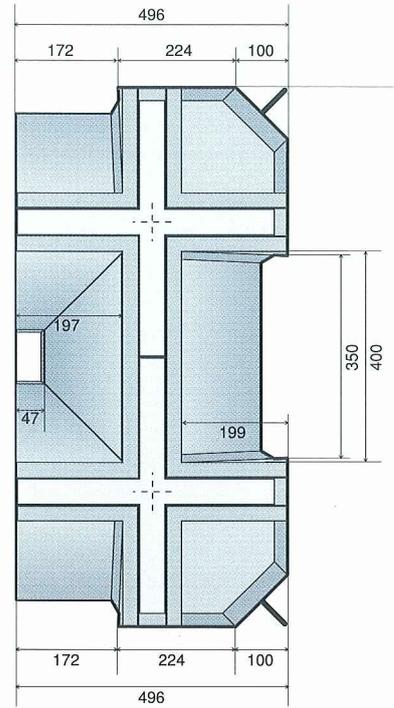
鎧 220型  
護岸ブロック 水理特性値証明  
「護性証 第0146号」

規格			体積 1個/㎡当たり	参考重量 1個/㎡当たり	覆土量 (ブロック天端)
300型	t = 130mm	H = 230mm	0.131m <sup>3</sup>	301kg	0.099m <sup>3</sup>
220型	t = 90mm	H = 190mm	0.096m <sup>3</sup>	220kg	0.094m <sup>3</sup>

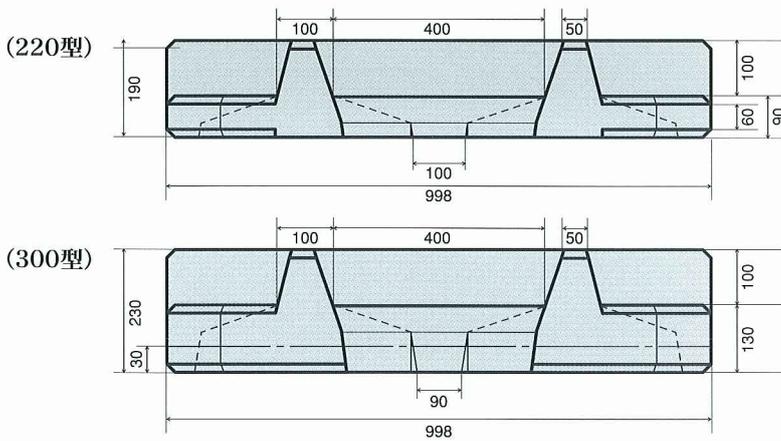
## ■ 平面図



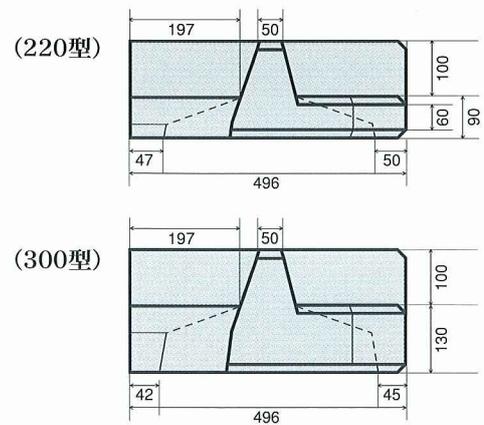
## ■ 1/2 平面図



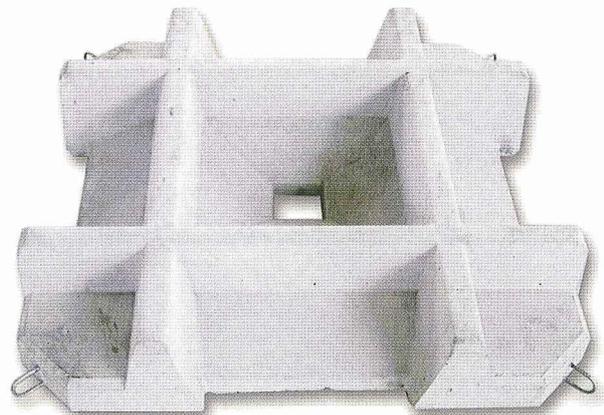
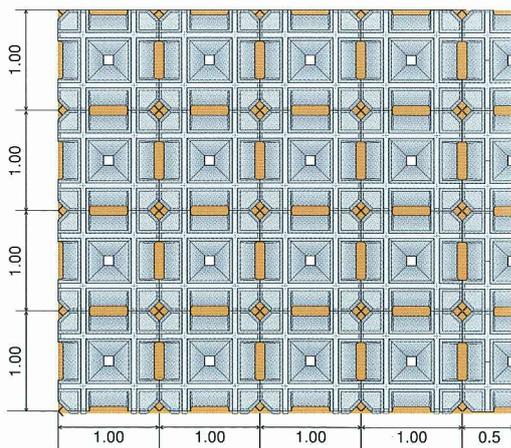
## ■ 側面図



## ■ 1/2 側面図



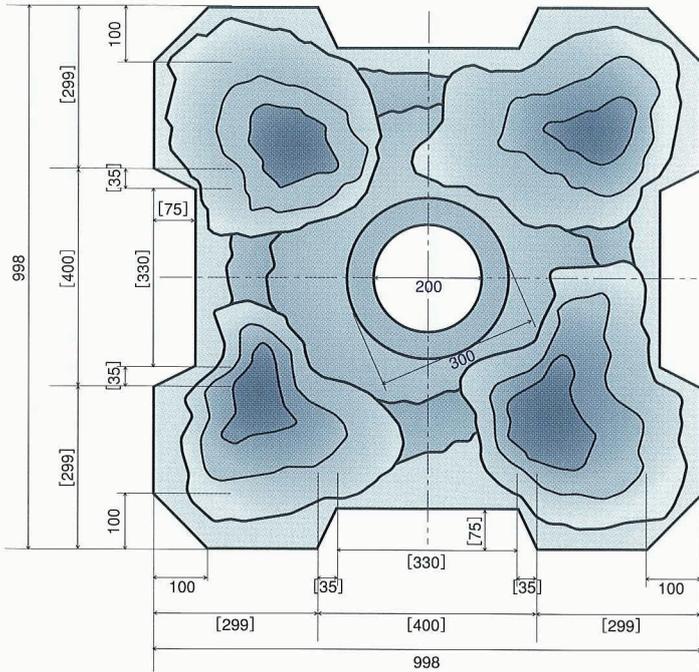
## ■ 展開平面図



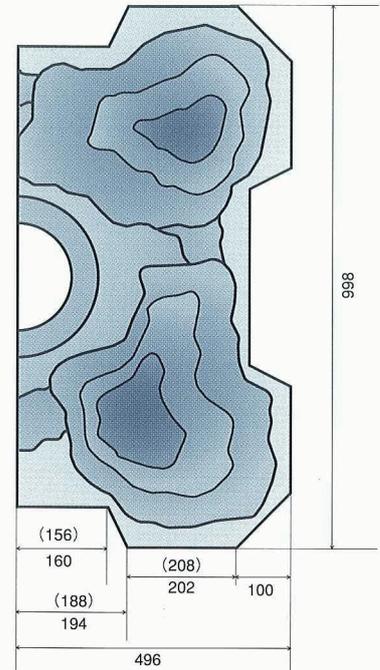
# カルスト

規格			体積 1個/㎡当たり	参考重量 1個/㎡当たり	覆土量 (ブロック天端)
300型	t=100mm	H=250mm	0.134㎡	328kg	0.116㎡
230型	t= 50mm	H=200mm	0.100㎡	230kg	0.100㎡

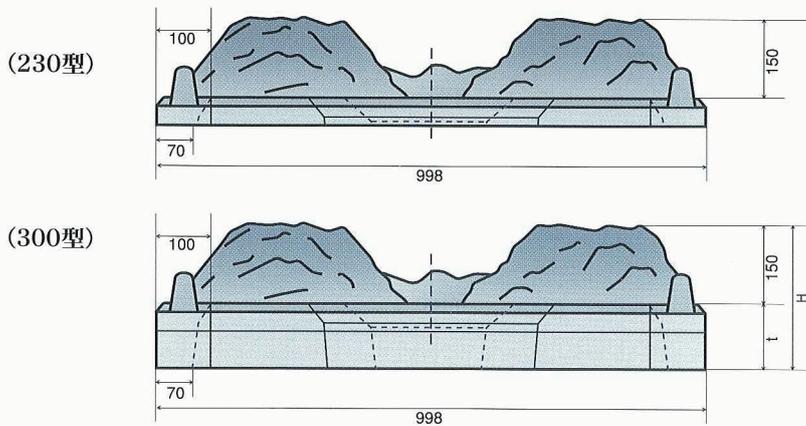
■ 平面図 ( )書は300型 [平均長]



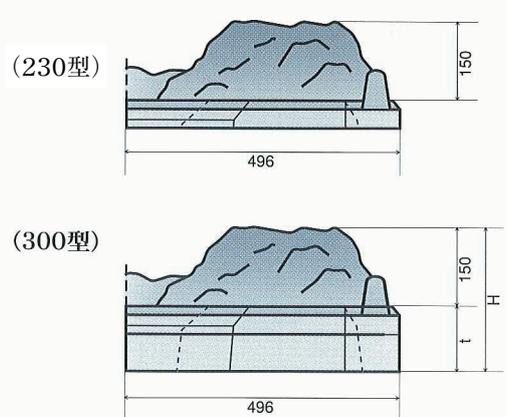
■ 1/2 平面図



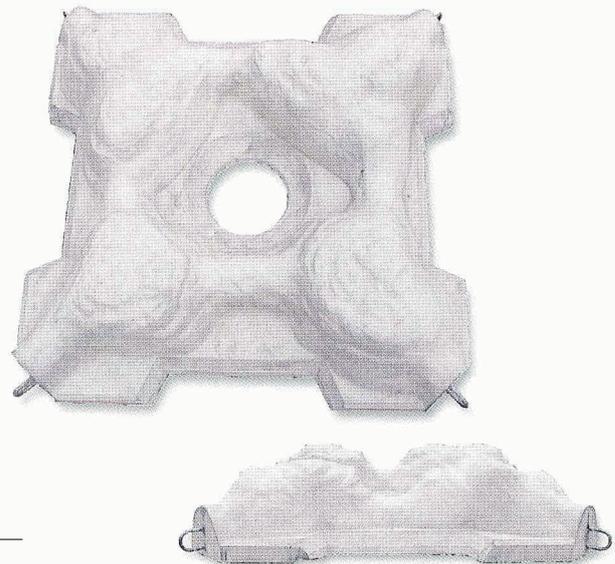
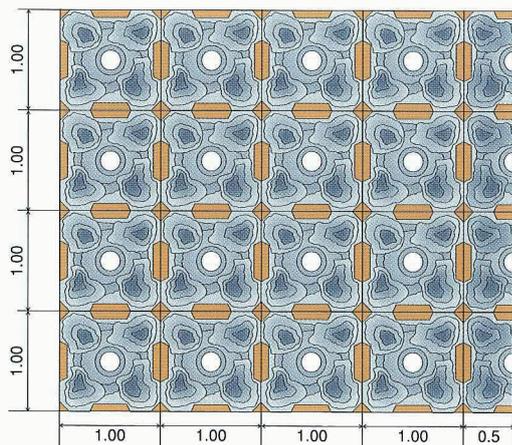
■ 側面図



■ 1/2 側面図



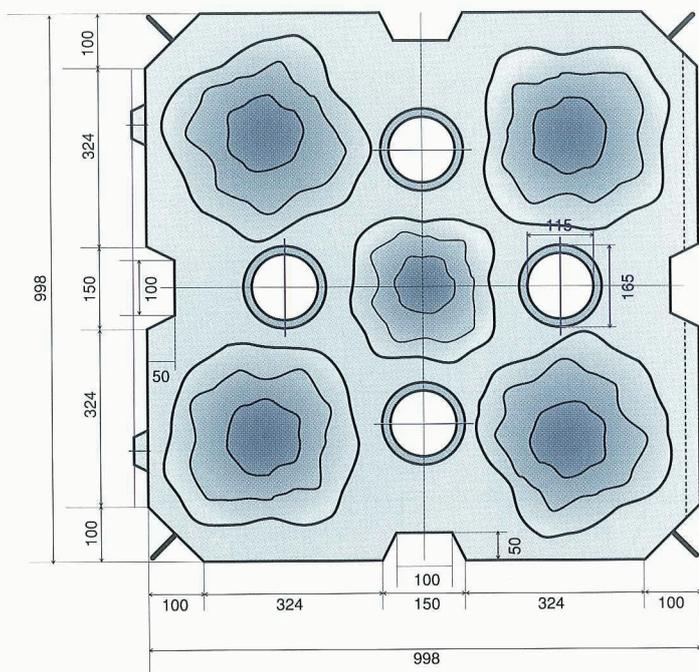
■ 展開平面図



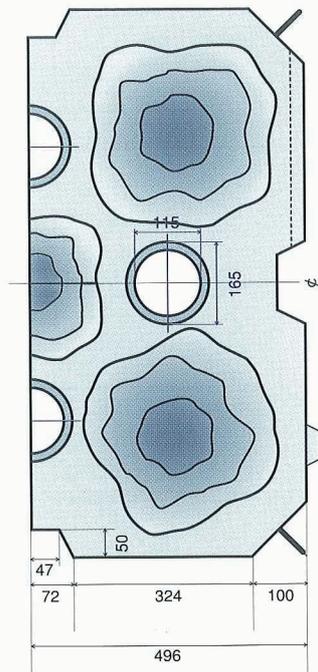
# 溪谷 ・一般部張りブロック

規格			体積 1個/㎡当たり	参考重量 1個/㎡当たり	覆土量 (ブロック天端)
360型	t=100mm	H=350mm	0.157㎡	361kg	0.193㎡

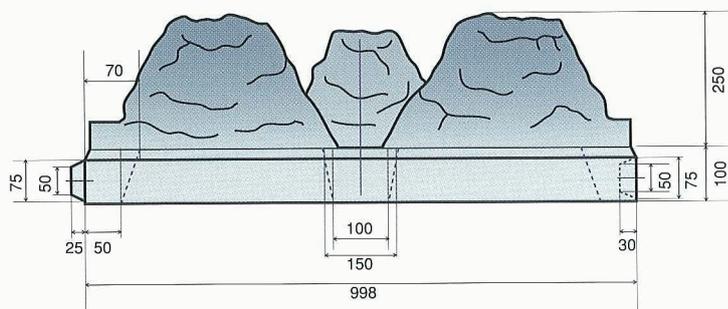
■ 平面図



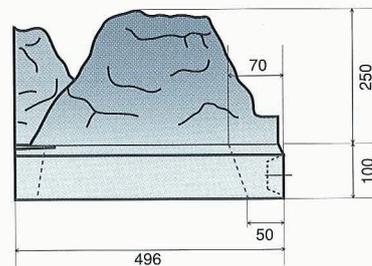
■ 1/2 平面図



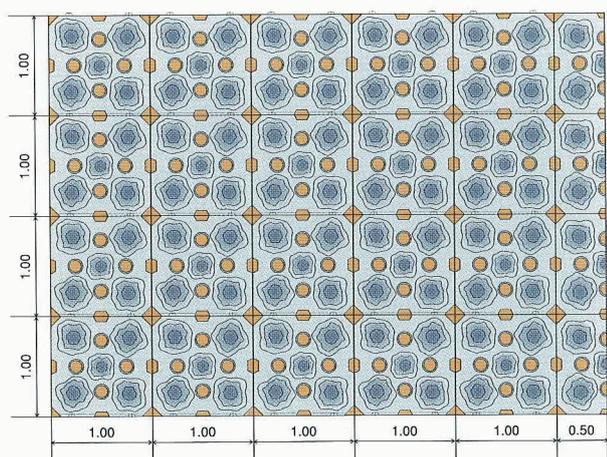
■ 側面図



■ 1/2 側面図



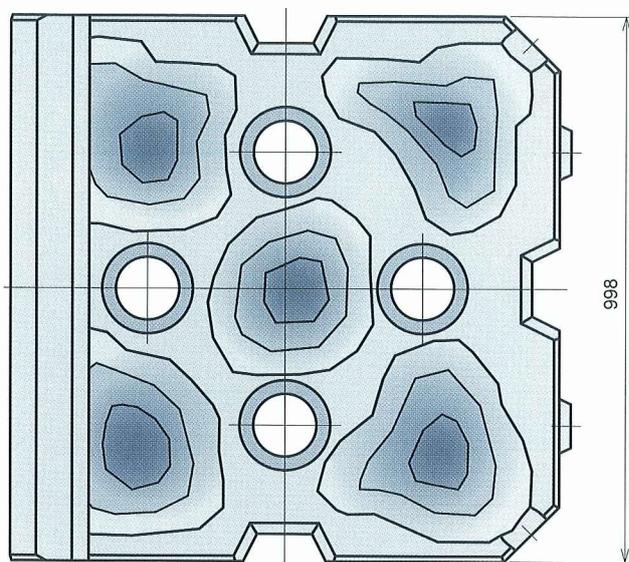
■ 展開平面図



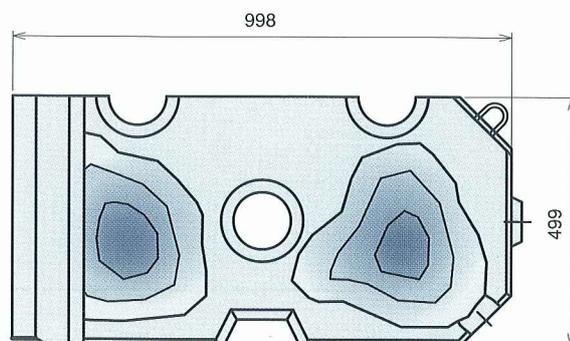
# 溪谷

・魚巣ブロック「環境」と組合せ部の専用ブロック

■ 平面図

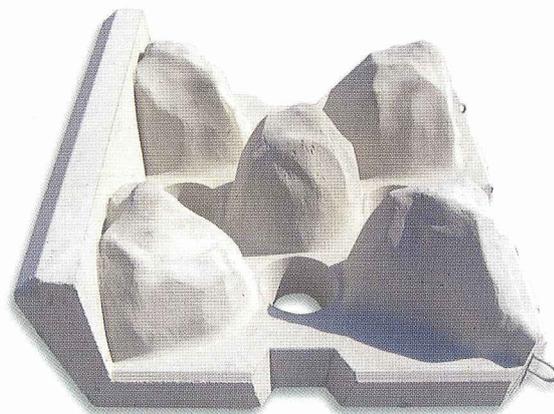
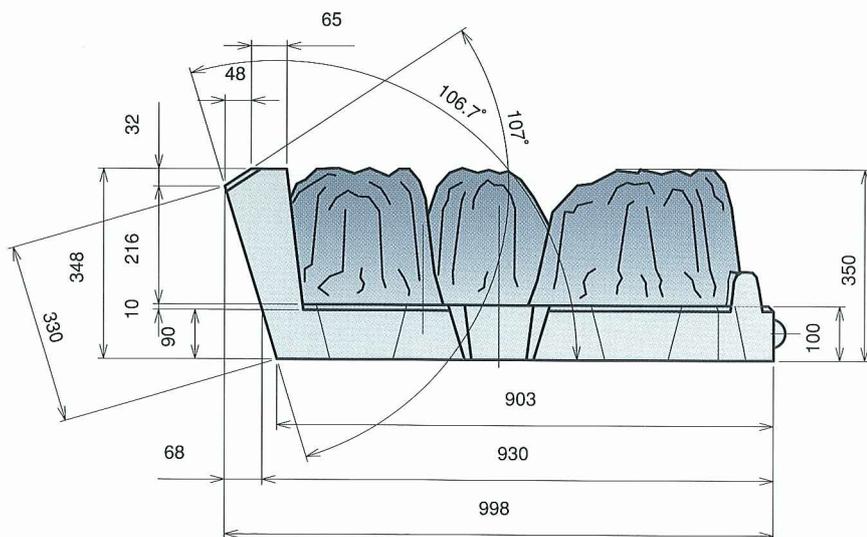


■ 1/2 平面図



■ 側面図

[組合せ基礎ブロック]



■ 連結状況



■ 連結部 (各ブロック共通)

